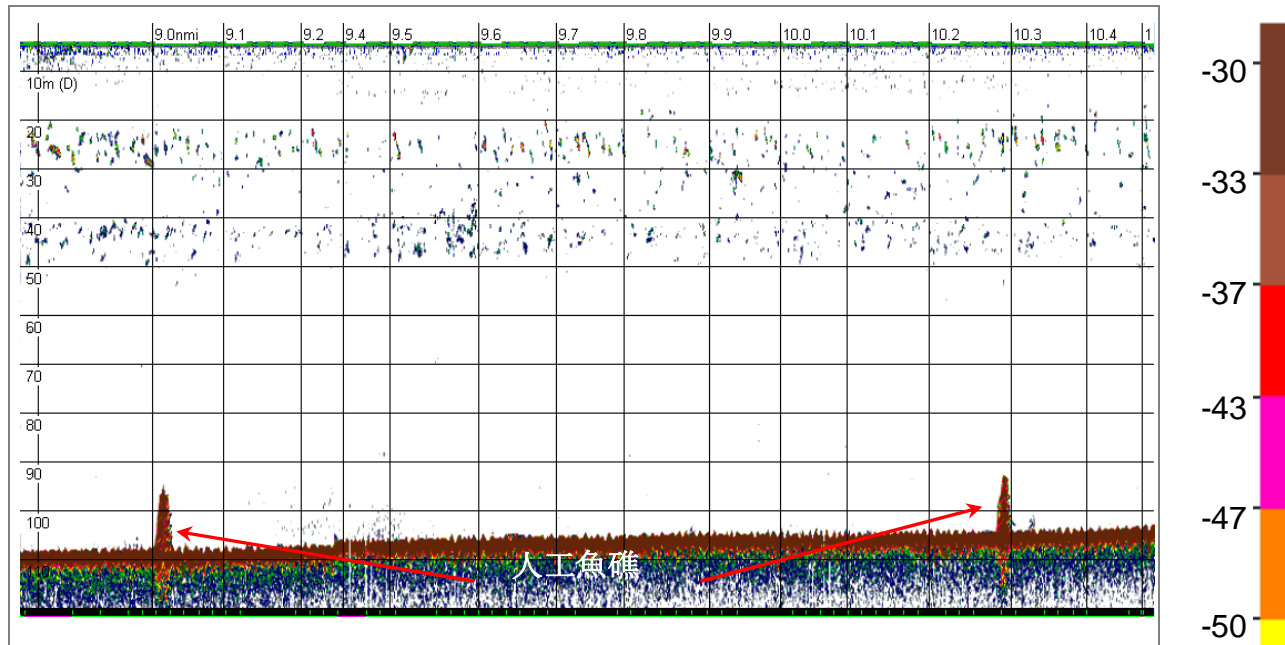


反応構成生物： マアジ (*Trachurus japonicus*)

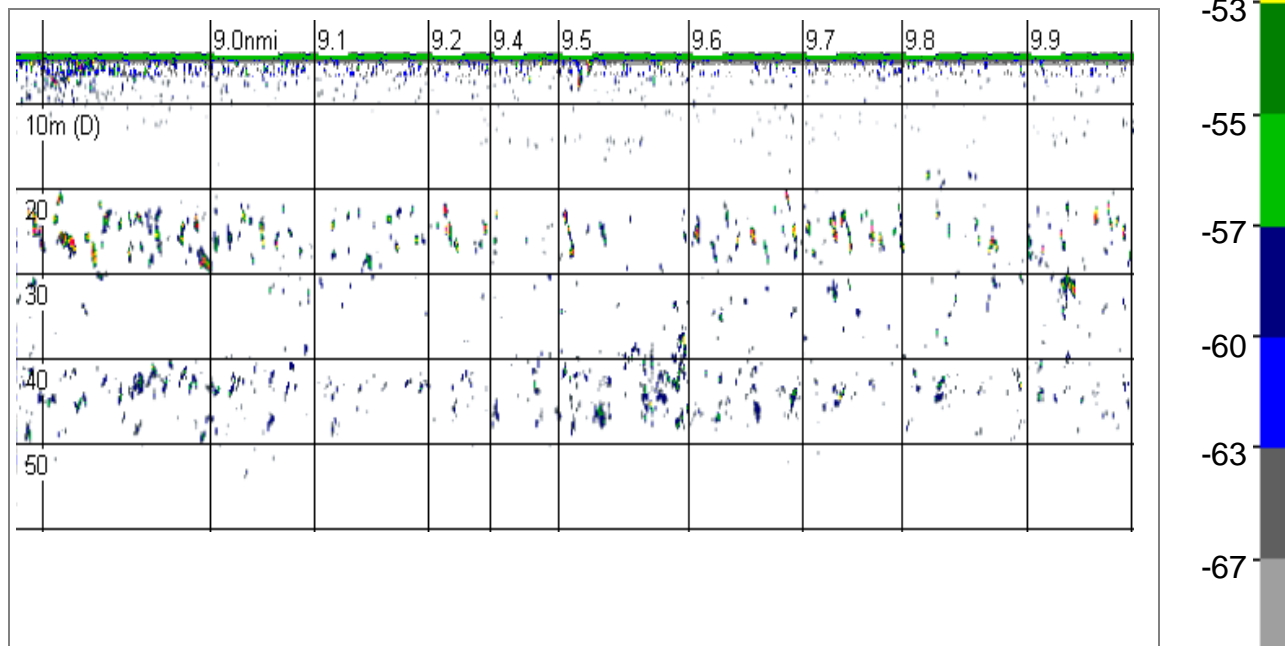
収録日時：2001年6月20日 (昼間 10:30 頃)

収録海域：日本海, 浜田沖

収録機種・周波数：FQ-70・50 kHz



Echogram-1 50 kHz



Echogram-2 50 kHz (拡大図)

表示スケール: 縦 120 m / 横 10.4 n.miles (Echogram-1), 縦 60 m / 横 10.0 n.miles (Echogram-2)

グリッド間隔: 縦 10 m / 横 0.1 n.miles (Echogram-1), 縦 10 m / 横 0.1 n.miles (Echogram-2)

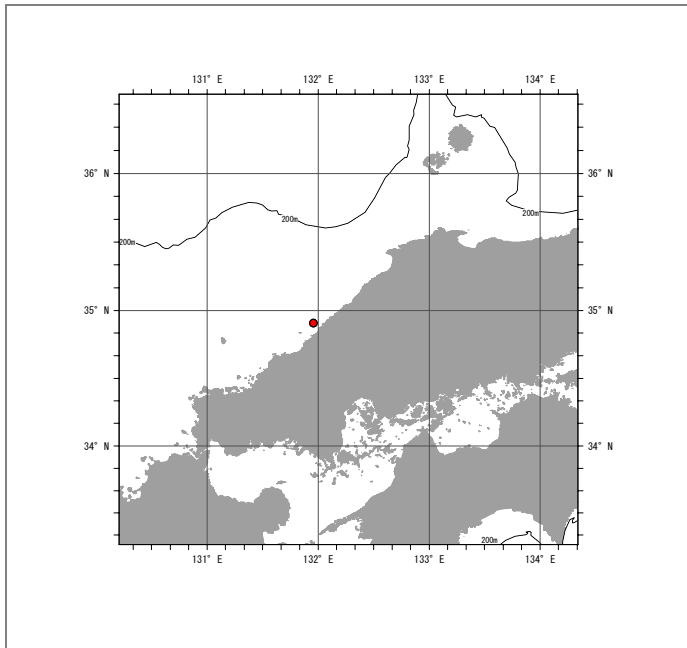
表示色・表示 S_v 範囲: EK500color ・ -70 ~ -30 dB

平均 S_v 値: -55.9 ± 1.7 (dB), 魚群高さ: 2.2 ± 0.8 (m; \pm s.d.)

魚群幅: 14.4 ± 8.9 (m; \pm s.d.), 魚群の中心深度: 41.4 ± 9.3 (m; \pm s.d.)

データ提供: 水産大学校 海洋生産管理学科 (中村武史), 島根県水産技術センター, 島根丸

収録海域詳細↓



反応構成生物写真・イラスト↓



写真提供：「東北フィールド魚類図鑑」

魚種確認の有無・対象生物判別の根拠

中層トロール網によって反応をサンプリングし（30分間の曳網）、マアジであることを確認したこと。

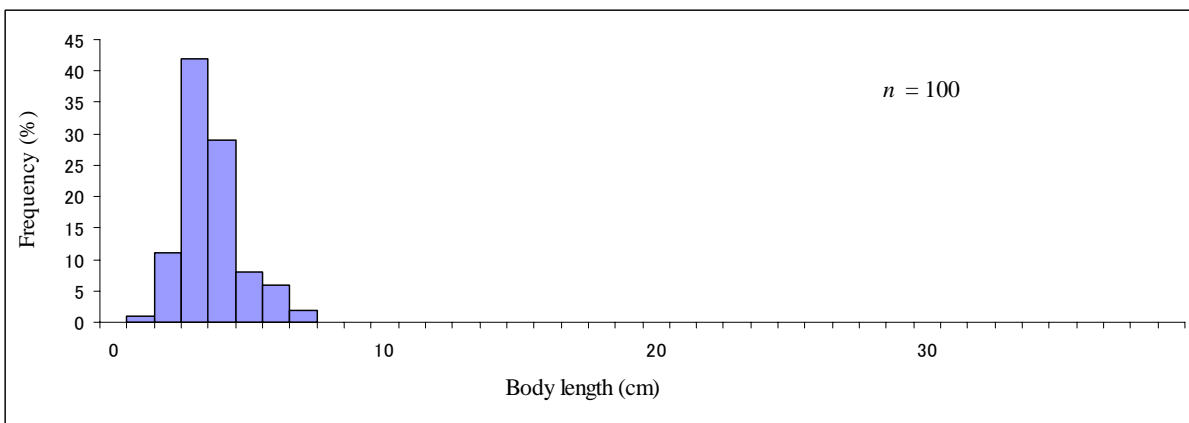
サンプリング詳細情報・備考

採集生物内訳： マアジ 6674 個体

中層トロール網深度： 20~40 m, 網口高さ： 約 10~12 m

マアジの平均尾叉長： 4.4 cm

マアジの体長組成： 以下参照。



参考文献：

Nakamura T., Hamano A. 2009 Seasonal difference in the vertical distribution pattern of Japanese jack mackerel, *Trachurus japonicus*: changes according to age?. ICES Journal of Marine Science, 66(6): 1289-1295.